

委員会だより

登別市PTA連合会と 意見交換を行いました 総務・教育委員会

昨年11月1日に、登別市PTA連合会より13名の正副会長・理事・事務局の皆様に出席いただき、本委員会の重点活動テーマである「小中一貫教育への取り組み」について意見交換会を行いました。

その中で、小学校から中学校へ進学していく段階で問題となる「中1ギャップ」については、実際に3年間引きこもりになってしまった子がいたとお話や、子どもに対して過保護になっていないか、社会に出ていく上でギャップに対応する力が必要であるなどの意見が出されました。

また、「学校区での取り組み」については、小中間の交流が行われておりスムーズにつながる事ができていることや、小中連携と小中一貫の違いを明確にすべきであるといった意見や、ふれあい活動により他校の子とも同士、親同士が顔見知りになるといったメリットをお話しいた



だき、大変参考になる有意義な意見交換会となりました。

委員会としても、これまでいただいた意見を参考にし、政策提言として市へ提出していきます。

(村井)

行事に参加し 触れ合い 理解を！ 生活・福祉委員会

昨年11月22日に登別市障害者福祉関係団体連絡協議会（以下略称障団連）との意見交換会を行いました。

本年度は、障団連からいただいたテーマに沿って問題提起をしていただきながら、それぞれ意見交換しました。

初めに、障団連の一年間の活動報告をいただき、障団連としての願いを受け止めることができました。

また、次の3点について、活発な意見交換を行いました。

①「障害者週間」記念事業のねらいと取り組みについて。幌別西小学校の児童や明日中等教育学校の生徒の応援参加や製鉄記念室蘭病院の林先生の講演など工夫を凝らした取り組みを行い、参加者を増やす努力をしている。

②新法である「障害者差別解消法」に対する考え方について。日常生活や行事を通じて障がい者と話し、触れ合い、障がい者を理解してほしい。



③福祉避難所への対応について。観光都市登録としてのバリアフリー化など、施設・設備面での現状とその対応。

(渡辺)

議会サポーターと 意見交換を行いました 観光・経済委員会

昨年11月15日、議会サポーターを招き、重点活動テーマである「北海道新幹線延伸による観光産業の発展や経済活性化への取り組み」に対する委員会活動の報告と意見交換を行いました。

初めに、議会フォーラムで市民からいただいた意見と、行政視察について各委員から報告を行いました。

サポーターからは、市内経済界では雇用と求職のミスマッチが生じており、一部の業種しか経済活性化の効果を感じられていない、労働者不足の危機感から外国人の雇用も視野に入れなければならないなどの現状を伺いました。外国人の雇用については、言語の問題が解消されれば、文化や習慣などの違いは社内教育やほかの従業員の配慮で解決できるという意見をいただきました。



北海道新幹線の札幌延伸までに、本市を含めた南周ルートにある市町村では、観光客の受け入れに支障がないよう積極的な取り組みをしなければならぬと共通認識を持ちました。

(米田)